

園だより あおいそら 5月号

令和8年4月16日(木) 熊本大学教育学部附属幼稚園

園長コラム

すくすく伸びる よい子たち

あっという間に桜の花が終わり、お城の下には色とりどりのつつじの花が咲きつつあります。季節は次々に新しい景色の変化を見せてくれます。

4月8日の始業式、そして15日の入園式を終え、にぎやかに令和8年度の幼稚園生活が始まりました。保護者の皆様には、学年始保護者会、21日行われるPTA総会、その他のPTA活動等々、ご参加・ご協力いただきましてありがとうございます。

子ども達の新しい生活が始まりました。新しく入園されたお子様は、新しい環境、生活リズム、先生やお友だちとの関わりなど、不安なこともあるかと思えます。在園児さんと同じように、周囲の状況が変化する部分があり、戸惑いも出てくるかもしれません。ですが、大丈夫です。保育者一同お子様の援助を精一杯行いますのでご安心ください。

何か、ご心配・ご不安があるときは、早めに担任にご相談ください。

始業式の日、私は子ども達に3つの話をしました。

- ① 幼稚園のお友だち、小さい組のお友だちが困っていることがあるかもしれません。やさしく声をかけたり、待ったりして助けてください。
- ② 挨拶は、立ち止まり、えがおでしましょう。
- ③ みんな元気に遊びましょう。

お子様の元気な姿が、園庭いっぱいになり、いろいろな遊びがお友だちを通して広がっていくことを願っています。



はじめて、始業式の時に、園歌を聞きました。子ども達の元気で伸びやかな声での園歌、とてもすてきでした。

【園歌の1番の歌詞】

あおい おそらに ひがてれば
おにわで かけっこ すなあそび
たのしい ふぞくようちえん

あおいお空に向かって
伸びるくすのき

この園だよりのタイトルにもなっていますように「あおい(お)空」の元、たくさん遊び、たくさん歌い、シンボルツリーのようにすくすくと育ててほしいと願っています。



4月の旬の
食べ物
「タケノコ」



熊本地震から10年

今年は、本園は110周年を迎えます。

さらに、熊本地震から10年目を迎えます。

この園だよりが発行される日は、ちょうど10年目の節目を迎える日です。

お子様は、まだお生まれになっていなかったと思いますが、当時保護者の皆様はどのようにお過ごされたのでしょうか？あの惨禍を忘れず、改めて日頃の防災意識を高める必要があります。

日頃のくらしを見つめ直し、穏やかに過ごしている日々感謝したいものです。

お子様にもぜひ、熊本地震のことを理解していただける範囲で、お話ししていただけるとありがたいです。

園庭から見える熊本城も着々と復興に向かっていきます。